

タイトル：コロナ禍における支援のあり方について

以下の図1はコロナ禍の2020年5月時点の失業者と休業者（職に就いているのに実際は仕事をしていなかった人）の割合を、また図2は2020年5月から11月にかけての推移を図示したものです。これらのグラフから読み取れることを簡潔にまとめて書いてください。

次に、このような状況の中、政府はどのような政策を講じた（ている）のかを1つ調べ、関連する図表（グラフ等）を最低1枚、課題レポートの裏面のスペースに記入し、それを引用しつつ内容などをまとめて下さい。その際、どの資料を調べたのか資料の題名・書いた人（省庁・団体など）・書かれた年・出版社またはインターネットのURL等を課題レポートの裏面の「参考にした書籍等」に書いて下さい。

最後に、上記で調べた政策はどこがよくないと思いますか？あえて批判的に論じて下さい。それを踏まえて、どのような政策を講じればよいか、あなたのアイデアを述べて下さい。

図1：失業者・休業者になった民間雇用者の割合（%, 2020年5月下旬現在）

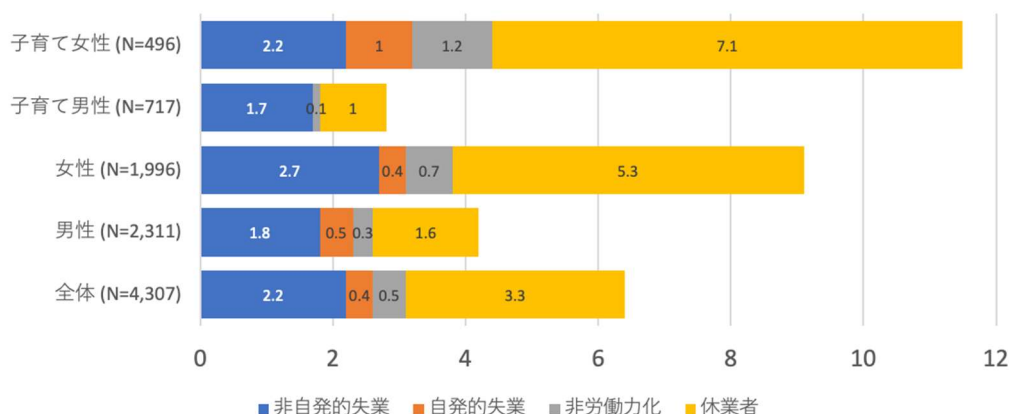
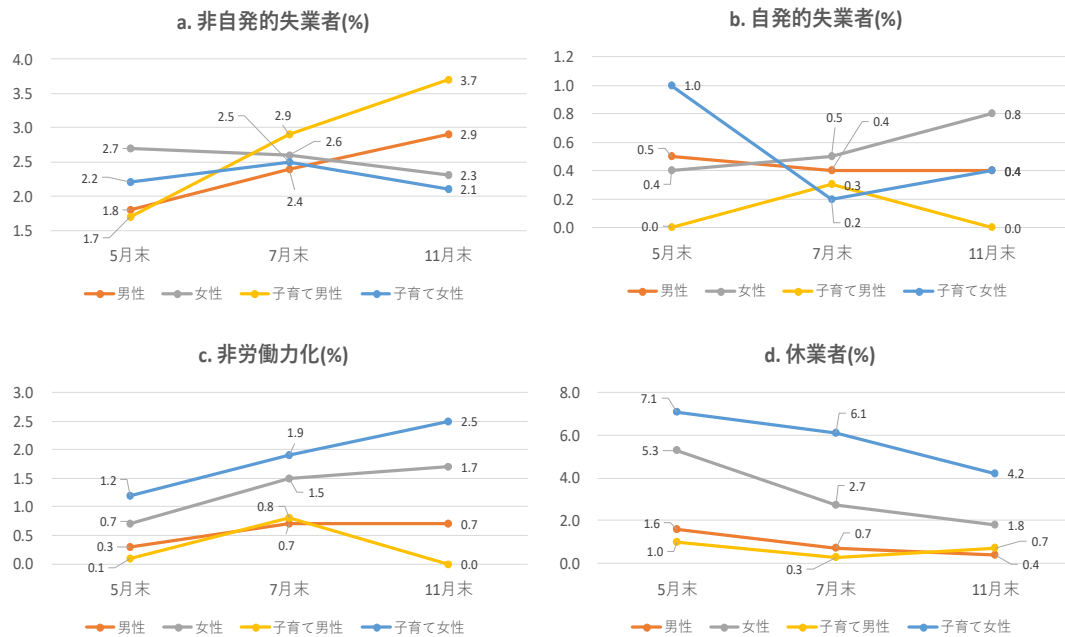


図2 失業者・休業者になった民間雇用者の割合（％，2020年5月～11月）



資料出所 周燕飛 2021「JILPT リサーチアイ 第55回 コロナショックの被害は女性に集中（続編Ⅱ）—雇用持ち直しをめぐる新たな動き—」 労働政策研究・研修機構
https://www.jil.go.jp/researcheye/bn/055_210219.html の付表1から作成。

注1：データは JILPT「新型コロナウイルス感染拡大の仕事や生活への影響に関する調査」（5月調査、8月調査、12月調査）より周氏が集計。

注2：集計対象者は、2020年4月1日時点民間企業で働く会社員4,307人である。

注3：非自発的失業者は「解雇/雇い止め/倒産失業」、自発的失業者は「働いておらず、求職活動をしている（除く「非自発的失業者」）」、非労働力化は「働いておらず、求職活動もしていない」、休業者は「雇用されているが、就業時間がゼロ」の状態にある者のことである。

注4：図1のNは調査対象の人数。

注5：子育て男性（女性）とは、18歳未満の子供を育てている男性（女性）のことである。